

美桑が丘

校訓『創造敬愛』

下川町立下川中学校
令和7年度学校だより
第5号 R7.8.29発行

2学期の始まりにあたって

校長 越 湖 憲 治

1学期の終わりにご協力いただいた学校評価では、学校と家庭、地域の連携に関する項目で90%を超える高い評価をいただきました。これは、地域学校協働コーディネーターが主体となり、学校教育ばかりではなく社会教育の中にも多様な学びの場としての繋がりを導いてくださったことが、子どもたちに少しずつ変化としてあらわれてきているためではないかと考えています。子どもたちにとって学校には、よく知った人間関係が築かれていることで自己の居場所があり安心して生活できます。そのため、仲間の意見を聞き入れることが得意ではありますが、意見を交わし合い発展・深化させることはどちらかというと不得手なように感じています。ですから、多様な場で様々な方々対話する機会を意図して作っていただくことは、子どもたちの成長にとって重要なことだと認識しています。

去る8月18日からの全国中学校体育大会 軟式野球大会に本校生徒も出場しました。合同チームではありますが、土別中、土別南中、智恵文中、風連中の4つの中学校と一緒に練習し、地区大会、管内大会、全道大会を勝ち進んだ結果の全国大会でした。週に数回しか会わないチームメイトと意思の疎通を図り、自己をアピールしたり、仲間を支えたりすることはチームの勝ち以上の大きな経験であり財産になったのではないかと考えられます。これはほんの一例に過ぎず、部活動やクラブチーム等での他校生徒との切磋琢磨は好影響に与えてくれています。

また、私はこの夏休みに町内のラジオ体操に参加させていただきました。不純な動機ではありますが小中一貫が始まり子どもたちの様子を見るためという思いがあり、出張等で下川を離れた日以外は参加しました。結果として8回しか参加できませんでしたが…。普段のスーツ姿とは違い、ジャージでの参加だったため校長と気が付かない方々もいたように感じました。私自身も参加するだけで特別なアプローチはせずにはいましたが、回を重ねるたびに相手方から挨拶をしていただいたり、地域の方から子どもたちに声を掛ける様子をうかがえたりしました。後半には、しおりんシールを配ったり、ハンコを押したりする私に、子どもたちの方から「ありがとう」「おはよう」「さようなら」などの言葉を聞くことができました。子どもたちの挨拶や礼儀等は、こんなところからも広がっているんだなと感じることができました。

2学期も地域行事に加え、学校にも様々な形でゲストティーチャーを招いたり、地域に出向いたりしながら教育活動を進めてまいります。まずは、学校祭があります。地域の皆様にも子どもたちの活動を見ていただくとともに取組に対するお声掛けをいただき、共に変化を確認し合えればと思っています。地域との繋がりがさらに広がり、子どもたち自らが繋がりを求め行動できることを願い、新学期始まりのご挨拶とさせていただきます。

■第2回学校運営協議会に生徒参加

7月29日(火)に開かれた第2回学校運営協議会に3年生の中村山太くん、小澤虹翔くん、畠山果愛奈さん、渡辺心桜さん、2年生の黒川愛美さん、竹本祐那さんの6名が参加しました。今回の内容は、小学5年生から中学3年生に事前アンケートを実施し、子どもたちの現状や思いを活かして小中で統一した学校教育目標を検討する意見交換です。協議会委員の方々と生徒たちが関わるとても貴重な機会となりました。



夏季休業中の生徒の活動

■夏休みラジオ体操 in しもかわ

7月25日(金)～8月9日(土)6:20～6:50、安原公園でラジオ体操が実施されました。参加者は、のべ353名で、本校生徒の参加もありました。運営側のお手伝いとして、PTA会員から3名の方々にもご協力いただいています。ありがとうございます。

■第56回北海道中学校陸上競技大会結果

7月22日(火)～24日(木)に室蘭で開催された全道大会で、男子4×100mリレー、女子走り高跳びに出場しました。予選突破を目指し、走り高跳びでは自己ベストをマークするなど全力で競技に臨みました。お疲れ様でした。



○男子4×100mリレー

3年 小澤虹翔 3年 中村山太
3年 松田大聖 1年 渡邊潤

○女子走り高跳び

3年 立花日菜梨

■第46回北海道中学校ソフトテニス大会結果

8月3日(日)に札幌で開催された全道大会で、女子個人戦に津志田紗・渡辺心桜ペアが出場しました。初戦で全力を尽くして戦い抜くことができました。お疲れ様でした。



■吹奏楽部の活動

8月3日(日)に開催された第64回名寄地区吹奏楽コンクールで、吹奏楽部は中学生の部 C 編成で銀賞となりました。練習の成果を発揮し、これまでで一番の演奏ができました。

コンクールに向けて夏休み中の練習の様子



、8月31日(日)のうどん祭り音楽演奏会に出演予定です。ぜひ、会場に足を運んで演奏を聴いていただけたらと思います。

■第76回北海道中学校軟式野球大会結果

1 回戦	対厚沢部中	4-0
2 回戦	対伊達中	2-1
準々決勝	対広陵中	12-0
準決勝	対本通中	1-0
決勝	対羽幌フェニックスミドル	5-1

7月29日(火)～8月3日(日)に函館で開催された全道大会で野球部は見事優勝し、全国大会の進出を決めました。

■第47回全国中学校軟式野球大会結果

8月19日(金)に佐賀県武雄市ひげしんスタジアムで1回戦が行われました。愛媛県の阿久比町立阿久比中学校を相手に0対2という結果でしたが、仲間と共に戦い抜いた貴重な経験となりました。お疲れ様でした。



本校の出場選手 3年 佐藤大翔

<今後の予定>

9月1日(月) 全校朝会、安全点検日
2日(火) 上教研ブロック班長・会場校合同会議
4日(木) 学校祭総練習
6日(土) 第79回学校祭
8日(月) 振替休業
10日(水) 学力テスト総合A(3年)
11日(木) 小中連携専門部会
15日(月) 敬老の日
16日(火) 職員会議

17日(水) 秋の避難訓練
19日(金) 常任委員会、校務運営委員会
22日(月) 校内研修
23日(火) 秋分の日
24日(水) 生徒会役員選挙
25日(木) テスト前学習会①、諸費納入日
26日(金) テスト前学習会②
29日(月) テスト前学習会③
30日(火) 2学期中間テスト



■学校評価(中間)アンケート結果報告

6月30日(月)から7月4日(金)の期間に生徒、保護者、教職員、学校運営協議会委員の皆さんに学校評価アンケートを実施しました。その集計結果と今後の教育活動の改善策をお知らせします。

本校の重点目標としている『共に学び、自らの成長を実感できる生徒の育成「充実感」と「達成感」』に関する質問項目と肯定的回答(「そう思う」または「ややそう思う」)の割合は以下の通りです。

項目	保護者		生徒		教職員	
充実感	お子様は、安全・安心に通っていると感じますか。	96%	学校生活は楽しいと感じますか。	90%		
達成感	学校生活を通して、お子様の成長を感じますか。	96%	仲間と共に学ぶ中で、自分の考えや行動が変化していると感じますか。	76%	いろいろな人と関わる中で、学校の教育活動が子どもたちの成長につながっている。	100%

生徒対象の1つの質問項目を除き、90%以上の肯定的回答となりました。引き続き、生徒たちが達成感をより実感できるよう今後も教育活動の充実を図ってまいります。

次に「意欲的に学ぶ生徒の育成」に関する質問項目と肯定的回答(「そう思う」または「ややそう思う」)の割合です。

項目	保護者		生徒		教職員	
学習に対する満足度	お子様は学校の学習に前向きに取り組んでいると思いますか。	83%	授業は分かりやすいですか。	89%	生徒が単元や授業の学習課題に対して、見通しをもって解決できるよう工夫している。	92%
発表の工夫			授業で発表するときに、自分の考えがわかりやすく伝わるように工夫していますか。	92%	授業で生徒が主体的な発表をできるよう支援している。	100%
学びの振り返り			授業で、自分の学びや気づきなどを振り返ることができていますか。	84%	授業で、生徒が学びや気づきなどを振り返る機会を設定している。	79%
家庭学習の定着	お子様は学校の授業以外で、学習に取り組むことが習慣になっていると思いますか。	65%	授業以外で、学習に取り組むことが習慣となっていますか。	79%	生徒の家庭学習の習慣化の取組は十分である。	61%
自己効力感の育成			課題に対してどうすればよいかを自分なりに考えるようにしていますか。	79%	授業で協同場面の設定をし、学びを深める働きかけをしている。	100%
継続性			何事も途中であきらめずに、最後までやり抜こうとしていますか。	97%	生徒が目的・目標に向かって最後までやり抜くことができるように支援を行っている。	100%

保護者、生徒、教職員ともに80%を下回ったのが「家庭学習の定着」の項目です。生徒たちが家庭学習を習慣化させることは、学力定着や向上だけでなく、自主性や自己管理能力を育むことにもつながります。自分で時間を決め、内容を考え、取り組むことで、将来必要な「自ら学ぶ力」や「計画性」「継続力」が養うことができると考えています。そこで、以下の改善策を実践していく予定です。

- (1) 生徒たちに4月から導入した手書き手帳の効果的な活用法を共有する。

(2) 生徒たちが「のびる場」の時間に家庭学習の目的・目標と予定を記入し、翌日に自己評価する。

(3) 生徒たちの手書き手帳を保護者の方にも定期的に見てもらい、コメントをもらう。

学校と家庭が一緒に取り組むことで、生徒たちの学びはより確かなものとなります。今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

次に「心豊かな生徒の育成」に関する質問項目と肯定的回答(「そう思う」または「ややそう思う」)の割合です。

項目	保護者		生徒		教職員	
他者との関わり・協働性			自分と違う考えの人の話を、最後まで聞くようにしていますか。	100%		
			自分から挨拶や言葉づかいに気を付けていますか。	97%		
自己の確立			自分の夢や目標について考えていますか。	71%	生徒に夢や目標をもたせる教育活動が展開できている。	92%

ほとんどの質問項目が80%以上の肯定的回答ですが、生徒1人ひとりが夢や目標について考えられるよう今後も総合的な学習の時間でのキャリア学習で職業観や勤労観、それにつながる進路決定への学びを充実させていきます。

次に「たくましい心身をもつ生徒の育成」に関する質問項目と肯定的回答(「そう思う」または「ややそう思う」)の割合です。

項目	保護者		生徒		教職員	
健康安全	お子様は食事や睡眠など規則正しい生活習慣が身に付いていると思いますか。	78%	健康や安全に関するルールやマナーを守って行動していますか。	100%	健康安全に関する指導は十分である。	92%
適切な日常生活	お子様は各種メディアに触れる時間を自分で管理できていると思いますか。	65%	自分の生活を見直し、より良くしようとしていますか。	84%		

子どもたちの生活習慣やメディア利用などについて、保護者の皆さんの中には課題を感じている方がやや多い反面、生

徒たちに課題意識があまりないのではないかと考えられます。本校では、6月下旬に「生活リズムアンケート」を実施し、より具体的に生徒たちの生活習慣を把握した上で各学年に生活リズムに関する授業を行いました。また、以下の改善策に取り組む予定です。

- (1) 手書き手帳を活用した生活の見直しの促進
- (2) 生徒たち自身による生活習慣に関するルールの設定
- (3) 学校と家庭でメディア利用時間の管理についての連携



次に「地域とともにある学校づくり」に関する質問項目と肯定的回答(「そう思う」または「ややそう思う」)の割合です。今後も家庭や地域と連携を図った教育活動を推進していきます。

項目	保護者		教職員		学校運営協議会委員	
情報公開	学校からの連絡や情報提供(学級通信・学校だよりなど)は分かりやすく、適切だと思いますか。	87%			学校からの情報提供は分かりやすく、適切だと思いますか。	100%
	学校の教育活動や行事について、十分に知ることができていますか。	91%			学校の教育活動について十分に知ることができていますか。	67%
安心・安全な学校	学校の施設や設備、学習環境は安全、安心だと感じますか。	96%			生徒の安全確保(学校周辺、通学路等)ができていますか。	100%
連携	学校と家庭で協力して子どもたちの成長を支えていると感じますか。	91%	家庭・地域との連携を効果的に行っている。	100%	地域資源を活かした教育活動が、子どもたちの成長につながっていると感じますか。	100%

最後に「学校改善」に関する質問項目と肯定的回答(「そう思う」または「ややそう思う」)の割合です。

項目	保護者		教職員		学校運営協議会委員	
小中連携			「9年間でめざす姿」の実現に向け、小中連携の取組は進んでいる。	53%		
その他	学校の教育活動に満足していますか。	83%	校内研修による授業改善の取組は成果となっている。	92%	協議会で熟議した内容が学校の教育活動に活かされていると感じますか。	100%
			仕事に誇りとやりがいを感じている。	92%		
			職場環境に満足している。	100%		

小中連携については、今年度に「小中統一した学校教育目標の制定」と5,6年生児童が中学校生活に見通しをもつことを目的に「1日中学校生活体験」の実施を予定しています。

次に保護者の方からいただいた「学校の教育活動をよりよくするために、我々と保護者の皆様が連携・協力してできること」のご提案について紹介します。

- (1) 先生方と話せる時間がもう少しあっても良いと思います。中体連の時、応援に来てくださった先生方いろいろな話をして、子どもたちへの考え方や、気を使ってくださっている様子などを感じました。
- (2) 保護者と学校との信頼関係が重要だと思います。お互いがコミュニケーションをとり、すぐ相談して、対応改善していけると、スムーズな連携がとれるのではないのでしょうか。
- (3) 校舎周辺の環境整備～もう少し彩りがあるとワクワクした気持ちで通学できるのではないのでしょうか。花を植えるでも良いと思います。中学生には、誰かが自分たちのことを気にかけているというメッセージを感じてもらいたいです。

(1)(2)については個人面談や参観日後の懇談会といったものだけでなく、気軽に意見交換や相談ができる機会を増やすことを、(3)については、費用や維持などの面の課題をふまえてPTAや学校運営協議会などと検討してまいります。貴重なご提案をありがとうございました。

最後に学校運営協議会の方からいただいた「学校の教育活動がより良くなるために、連携・協力してできること」についてのご提案を紹介します。

- (1) 生徒も含めて交流する機会がもう少しあれば良いかと思います。
- (2) 地域共育コーディネーターの本間さんが入られて、キャリア教育をはじめ生徒さんのボランティア活動など、地域の大人と関わる機会が現状でも多様にあるのではないかと感じています。さらに多くの機会を望んでいるのか、今ある機会に参加する生徒さんがもっと増えるのがよいのか、先生方の手が回らない部分に対する大人のボランティアが必要なのかなど、先生方のご要望を具体的に伺えるといいのかなと思いました。
- (3) 日頃から積極的に地域と連携していただいていると感じています。ありがとうございます。子どもたちが、毎年の自分の成長を自己確認できるような取組ができると、自信をもつことにつながるのではないかと感じます。

貴重なご提案をありがとうございます。これからも委員の方々と、生徒との交流や連携して取り組む内容などを検討してまいります。